

整理番号	23 - 32	事務事業名	(母子保健推進事業) 妊婦健康診査事業		作成部署	保健福祉部健康管理課	電話	内線808
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	細川 和夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H9	根拠法令等	母子保健法					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	道単独事業で実施されていたが、道事業廃止になることを受けて市単独で事業開始。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	健康と医療	(第1節)
	施策	保健予防の推進	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	妊娠中の方	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	健診のための受診票を発行することで、定期健診受診を促し、妊婦の健康と胎児の発育を守る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	<各種受診票の発行> 妊婦一般健康診査受診票 全妊婦 妊娠期間中1回使用 超音波検査受診票 出産予定日に35歳以上となる妊婦 1回使用 精密検査受診票 の検査結果で精密検査が必要になった方に発行
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	3,100	2,883	3,155	3,000
	合計	3,100	2,883	3,155	3,000
人件費(概算)	人数(年間)	0.07	0.07	0.07	0.07
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	630	630	630	630
総事業費 +		3,730	3,513	3,785	3,630

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	受診票による受診数	439人	429人	470人	470人
	内訳 妊婦一般健康診査受診票	389人	378人	400人	400人
	超音波検査受診票	49人	51人	70人	70人
	精密検査受診票	1人	0人	0人	0人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	受診票による受診数(代替指標)	439人	429人	470人	470人
	内訳 妊婦一般健康診査受診票	389人	378人	400人	400人
	超音波検査受診票	49人	51人	70人	70人
	精密検査受診票	1人	0人	0人	0人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受診者一人当たりの経費 (総事業費 / 受診総数)	8,497円	8,189円	8,053円	8,053円

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	妊娠中の健康をささえる制度として、同内各市町村で実施。妊婦一般健康診査票を2回分発行している市町村も多い。
---------------------------------	---

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市の直接支援策なので妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	全道的に取り組まれている事業であり、妥当。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	受診する医療機関は特定できないので、現在の手段は妥当。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受診票1枚の額が協定で全道一律。1市町村だけの変更はできない。	

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	妊婦健診料金は高額で、妊婦の負担は大きい。健診料の助成は、適切な時期の健診受診を促進する。特に若年、経済不安など、環境が整っていない妊婦には大きな手助けとなっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	各1回の助成で大きな手助けとなっている。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	ハイリスクといわれる妊婦が増加傾向にある。未健診の出産者をゼロにするために有効な制度であり、継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり